



とぎの新しいはく物館を考え、活用するための

第1号

とぎはく

ワーク
ショップ
ニュース



土岐市では、新しい博物館の建設に際し、市民の皆さんに興味を持ってもらうことを基本として、博物館での過ごし方や活用の仕方について、ハードやソフトの両面から考えていくことはもちろん、今回の計画で示されている「つながりエリア・にぎわいエリア」の部分を市民主体で活用する際の仲間づくりを進めていくため「新博物館市民ワークショップ」と呼ばれるグループ会議を行っています。今回、2023年の12月10日に行われた第1回ワークショップ当日の様子を「とぎはくワークショップニュース」としてまとめましたので是非ご覧ください。

◆当日のワークショップの様子

◆新博物館 ワークショップ！開催



◆日時：2023年12月10日(日) 13:00~16:00
◆場所：土岐市庁舎 1階多目的スペース ◆参加者：19名

◆ワークショップの主旨、当日のプログラム、全体スケジュール

◆新しい博物館の建設に際して「つながりエリア・にぎわいエリア」を中心に、市民の皆さんに興味を持ってもらうとともに、エリアでの過ごし方や活用の仕方について、ハードやソフトの両面から考えていきます。また、完成後に市民主体で活用する際の運営母体としての礎をつくっていきたいと考えています。

◆第1回ワークショップ 当日のプログラム

- 13:00 あいさつ・スタッフ紹介
- 13:05 ワークショップの目的とスケジュール
- 13:10 現況の整理
- 13:20 土岐紅陵高校による博物館活用紹介等
- 13:35 土岐紅陵高校生への感想と質問&休憩
- 13:45 去年のワークショップ、新博物館提案内容について
 - ・土岐らしいミュージアムってどんなところ？
 - ・新博物館の全体計画概要、ゾーニング案について
- 14:00 グループワーク
- 15:25 グループ発表
- 15:45 将来に向けた提案
- 15:50 次回ご案内等（アンケートご記入後に解散）



◆ワークショップ開催内容、今後の予定など

- 第1回 【R5/12/10】
「つながり・にぎわいエリア」の活用方法を考えよう！
- 第2回 【R6/2/12】
現地及び周辺を体感しよう！まちとつながってどう使う？
- 第3回 【R6/4月頃（予定）】
博物館計画の概要確認＋これからの活動ロードマップをつくろう！
- 第4回～【R6/6月頃から3回程度実施する予定】
今後施設を運営していくにあたり、ボランティア等による組織づくりや活用等などについて先進事例から学んだり、“（仮）とぎはくサポーター”設立にむけての提案を行ったりします。
※話し合うテーマや内容については変更する可能性があります

Aグループ



わきあいあい
と意見を出し
あっています



Aグループの
成果です

高専の生徒がファ
シリテーターをやっ
てくれました

Cグループ



写真を使って
過ごし方のイ
メージを高め
ていきます



Cグループの
成果です

Bグループ



たくさんの
意見が出て
います



Bグループの
成果です

Dグループ



じっくりアイ
デアを出し
ています



Dグループの
成果です

ひとこと アンケート

◆ワークショップに参加した感想について 土岐に住んでいる方ならではの話がたくさん聞けて、とても楽しかった。完成が楽しみ／言いたい放題夢を語れて楽しかった／今回はボランティアで正直参加するのが嫌だったが、色々な人の思いを聞いて、“トキハク”を盛り上げるためにどんなことをしたいのかと思えるようになった。次回以降も参加してみたい／まわりの人のアイデアを聞くことができてとても勉強になりました／高校生の方々の意見を聞くことができ、今どきの若い人達の意識の高さを知りました／高校生の発表（プレゼン）がとてもすばらしかった。“トキハク”実現が楽しみです／写真を元にイメージを膨らませたので考え易かった。具体的なイベントが思いついたりしてわくわくした／すごくいい半日になりました。私の意見やみなさんの意見がどうなっていくのかとても楽しみ／櫻木先生の講師に納得でした。初心忘れるべからずです ◆新博物館について 博物館といっても展示がメインではなく、みんな集える、遊べる、コミュニケーションスペースを集めていることがわかった。楽しいスポットになるといいです／開かれた博物館、気楽に来れる博物館になるといいです。これから何か手伝えるといいなと思います／新博物館について、たくさんのアイデアが寄せられましたが、そのうち1つでも実現するといいです。メディアコスに見学に行き感じたことは、総合プロデューサーが必要だなと思いました。

◆第1回ワークショップで出た意見 ～ 新しい博物館での過ごし方

項 目	具体的内容	具体的な活動・場づくりのヒント
体験イベント	◎粘土（陶土）ヨガ、心癒される場所。手で触れると面白い。文化財に触りたい。体験ツアー。ものづくりワークショップ。体験教室。定期的なイベントやお祭り、パーティ。美濃焼の講演会。バンドの演奏、発表ができる所。市民活動団体に場を提供。土岐の自然のよい所（ヒトツバタゴや湿地など）を集めた森でネイチャーゲーム→歴史と自然。アート作品、工作体験。陶器のレンタルでリピーターを生み出す。などなど 	●文化財を身近に感じられる工夫（触れる、粘土ヨガ） ●お祭り、イベント、催し物ができる場 ●市民団体の活動の場 ●市民レベルでのアート、工作体験 ●ものづくりを体験する場 ●食と器をテーマにしたイベント、パーティ ●親子で楽しめる場 ●周辺の自然を使った活動の場 ●バンド演奏、発表が出来る場 ●学校を巻き込む。 ●人が集まるフリースペース ●バックヤードツアー ●美濃焼のレンタル、サブスク
マルシェ／キッチンカー／フリーマーケット／カフェ	◎マルシェ（陶器市）、キッチンカー、本の物々交換会。オリジナルブランドの製作、販売。カフェを開店。閉館中も営業する。などなど 	●マルシェ（陶器市） ●キッチンカーが利用できる場 ●フリーマーケットを行える場 ●本の物々交換会 ●日常的に営業しているカフェ、ミュージアムショップ
くつろぎ／交流／コミュニティ	◎公園のように気軽に寄って、ゆったり過ごす。弁当を食べにふらっと寄る。休日に広場でピクニック。何も用事がなくてもブラリと来てボーっとしたりできる。ちょっとした打合せができる。土岐市のランドマーク的な場所。イルミネーションがきれいワクワクする場所。夜景を楽しむ。夜も開いている居場所になるといい。せめて 21 時。室内でもそとでも親子で過ごせるふれあいヨガや子育ての親子との相談会ができる場所。多治見駅前みたいなおしゃれな感じのテラス。などなど	●気軽に寄れて、くつろげる場 ●待ち合わせに使える場 ●無料で使える空間（打合せ、仕事等） ●子育ての相談ができる場 ●お茶を飲んでおしゃべりができる場 ●人が集まるフリースペース ●木を使った温かみのある空間（木育広場） ●ナイトミュージアム ●季節を楽しむことが出来る ●夜間でも利用ができる ●ピクニック、お弁当、おやつが食べられる
健康づくり	◎みんなと運動して健康寿命を延ばすことが出来る場所。老若男女、体づくりで運動ができる場所。粘土（陶土）ヨガ、心癒される場所（体験イベントと同じ）ゆっくり座禅がしたい。などなど	●健康、体力づくりの出来る場 ●ヨガの出来る広場 
学び／勉強／仕事	◎防災学習、環境と人との関わりをよくできるように。本をテーマにしたイベント。読み聞かせ、読書会。本のフリーマーケットができる。ワーキングスペース。美濃焼に関する個人研究ができる。学校の宿題やレポート、課題などができる。個室があるなら尚良い。 	●防災、環境に関する学びができる場 ●図書館のように勉強が出来る場 ●本を使った居場所づくり、読書会、読み聞かせ、図書館 ●仕事ができるスペース ●美濃焼の研究ができる場（個人レベル） ●コミュニケーションライブラリー
PR／情報発信／展示等	◎遺跡や古墳のタブレット端末によるガイド（看板に QR コード）。インスタ映えする写真の場所。泉西小からきれいな山が見えるらしい。トキハクのいいところを SNS で発信。タブレット端末で AR を活用して、焼物の紹介解説。土岐市の地形や産業が一目でわかるジオラマ。	●タブレットによる遺跡や古墳の紹介 ●Instagramなどの SNS 媒体を利用した情報発信（トキハクの PR） ●AR を使った焼き物の紹介、解説 ●ジオラマを使った施設や土岐市の紹介 ●映えるスポット～ネーミングが重要
周辺とのつながり／ネットワークづくり／その他	◎キックボードでまちめぐり／街の移動のメインに!! 移動手段として周辺を見学してもらえる工夫。史跡とのつながりが欲しい。駅から博物館までのルートかわかりにくい。博物館までの三つが着色されていれば迷わない。みんなで草刈り、金継ぎボランティア。などなど 	●博物館以外の施設や史跡との繋がりを分かり易くする ●キックボードなどを使った移動手段の工夫。自動運転の乗り物を使って移動をしやすいにする。 ●駅から施設までのルートやサインの構築 ●車いす、ベビーカーも通れる（バリアフリー） ●博物館に関するボランティア組織の構築（草刈り、清掃） ●環境リサイクル ●周辺史跡含めた謎とき ●雨水利用 